

地域医療支援病院の承認申請について

医療法第 4 条の規定に基づき地域医療支援病院の承認申請を予定する医療機関

令和 3 年 4 月 1 日現在

1. 概 要

フリガナ 名称	イズミシリツソウゴウイリョウセンター 和泉市立総合医療センター
所在地	大阪府和泉市和気町四丁目 5 番 1 号
開設者	和泉市
管理者	院長 松下 晴彦
開設年月日	平成 30 年 4 月 1 日
病床数	一般 307 床 (ICU8 床、緩和ケア 24 床)
診療科目	◎内科、外科、△小児科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓・胆のう・膵臓内科、内分泌・糖尿病内科、リウマチ内科、脳神経内科、腎臓・透析内科、血液内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、救急科、精神科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、歯科口腔外科、婦人科、泌尿器科、皮膚科、形成外科、耳鼻いんこう科、眼科リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科
救急 医療 体制	◎固定通年制 ○非通年制 △輪番制

2. 沿 革

- ・昭和 38 年 4 月 開院 60 床
 - ・昭和 38 年 4 月 和泉市府中町四丁目 10 番 10 号に公立和泉病院分院として発足
 - ・昭和 38 年 4 月 本館増築 (RC 造 3 階建)、病床数 120 床
 - ・昭和 47 年 4 月 泉大津市、和泉市病院組合を解散し、和泉市立病院として発足
 - ・昭和 52 年 12 月 新館竣工、病床数 201 床
 - ・昭和 53 年 10 月 本館改造、病床数 303 床
 - ・昭和 56 年 7 月 本館病棟、管理棟、旧看護婦宿舎増改築、病床数 327 床
 - ・平成 8 年 11 月 輪番制 (泉州地区) による小児救急実施
 - ・平成 10 年 7 月 救急診療を実施 内科、外科系
 - ・平成 22 年 10 月 病床数 307 床
 - ・平成 23 年 4 月 大阪府がん診療拠点病院の許可
 - ・平成 26 年 4 月 指定管理者制度へ移行 (医療法人徳洲会)
 - ・平成 30 年 4 月 和泉市和気町四丁目 5 番 1 号へ移転、病院移転に伴い名称を「和泉市立総合医療センター」へ変更
二次救急告示指定病院 指定、厚生労働省基幹型臨床研修病院
 - ・令和 3 年 4 月 国指定地域がん診療連携拠点病院の許可
- ～現在に至る～

病院名(正式名称)		和泉市立総合医療センター		
病院所在地		大阪府和泉市和気町四丁目5番1号		
開設者		和泉市		
開設者所在地		大阪府和泉市府中町二丁目7番5号		
「地域医療支援病院」承認要件一覧				
承認要件		記入欄		
許可病床数		一般307床		
施設設備	集中治療室	病床数	ICU 8床	
		主な設備	除細動器、心電図モニター、人工呼吸器、血液ガス分析装置 他	
	新生児集中治療室(NICU)	病床数	-	
		主な設備	-	
	化学検査室	主な設備	全自動生化学分析装置、全自動血球計装置 他	
		主な設備	自動同定・薬剤感受性装置、全自動血液培養検査装置 他	
	細菌検査室	主な設備	自動染色装置、自動免疫染色装置 他	
		主な設備	解剖台、ホルマリン対応切出台、顕微鏡 他	
	研究室	主な設備	パソコン、ビックパッド、顕微鏡 他	
		室数 (室)	5 (室)	
	講義室	収容定員 (人)	140 (人)	
		室数 (室)	1 (室)	
	図書室	蔵書数 等	蔵書5,000冊程度、パソコン 4台、文献検索ソフト	
		救急用自動車	保有台数 (台)	1 (台)
医薬品情報管理室	主な設備	ストレッチャー、酸素吸入器、生体情報モニター、除細動器 他		
	専用・共用	専用		
床面積 (㎡)	16.25 (㎡)			
紹介率・逆紹介率	紹介率・逆紹介率要件	紹介率 50% ・ 逆紹介率 70%		
		昨年度実績	今年度実績(4月～11月参考値)	
紹介率	$(\text{①}/\text{⑥}) \times 100$ (%)	64.4 (%)	68.9 (%)	
逆紹介率	$(\text{⑦}/\text{⑥}) \times 100$ (%)	84.9 (%)	83.3 (%)	
上記の算出根拠	初診患者数	紹介患者数 ①	9,190 (人)	7,032 (人)
		初診患者総数 ②	19,773 (人)	14,335 (人)
		②のうち、救急搬入患者数 ③	770 (人)	537 (人)
		②のうち、休日・夜間の患者数 ④	4,200 (人)	3,327 (人)
		②のうち、健康診断の受診から要治療となって治療を開始した患者数 ⑤	554 (人)	272 (人)
		差し引き ②-③-④-⑤ ⑥	14,249 (人)	10,199 (人)
		逆紹介患者数 ⑦	12,110 (人)	8,504 (人)
共同利用の実績	前年度共同利用を行った医療機関延べ数	162 (件)		
	うち直接関係のない医療機関延べ数	160 (件)		
	共同利用に係る病床の利用率	26.3 (%)		
	開放型病院共同診療管理料	0 (件)		
共同利用の範囲	建物の全部・一部	一部		
	開放型病床数	12 (床)		
	規定の有無	有		
開設者と直接関係のない登録医療機関数		121 (件)		
救急医療を提供する能力	医療従事者(常時最低確保数)	医師	常勤非専従 2人	
		看護師	常勤専従 3人 ・ 非常勤専従 1人	
		診療放射線技師	常勤非専従 1人	
		臨床検査技師	常勤非専従 2人	
		薬剤師	常勤非専従 1人	
		臨床工学技士	その他 1人	
	病床の確保状況	優先病床数	5 (床)	
		専用病床数	5 (床)	
	救急用診療施設・設備	ICU		
地域の医療従事者に対する研修機能	前年度の研修者数	582 (人)		
	研修プログラムの有無	有		
	研修委員会の有無	有		
	研修指導者数	18 (人)		
	研修実施のための施設・設備	講堂・小会議室・多目的室 計3室		
診療に関する諸記録及び管理・運営に係る諸記録の管理方法	診療に関する諸記録	診療情報管理室		
	共同利用の実績	地域連携センター		
	救急医療の提供の実績	診療情報管理室		
	地域の医療従事者のための研修の実績	地域連携センター		
	諸記録の閲覧の実績	診療情報管理室		
	患者紹介の実績	地域連携センター		
患者相談体制の整備		有り(MSW6名体制)		
地域医療支援病院運営委員会		規定有り(令和2年度9回実施)		
居宅等医療提供施設等への支援		在宅医療を提供している医院、療養型の病院などと連携し適時支援対応している		
備考		平成10年7月 外来院外処方 平成30年4月 救急告示 令和3年4月 地域がん診療連携拠点病院		

地域医療支援病院の承認申請について

医療法第4条の規定に基づき地域医療支援病院の承認申請を予定する医療機関

令和3年4月1日現在

1. 概要

フリガナ 名称	イッパンザイダンホウジン スミトモビョウイン 一般財団法人 住友病院
所在地	大阪府大阪市北区中之島五丁目三番二十号
開設者	一般財団法人 住友病院 理事長 高橋 温
管理者	院長 金倉 譲
開設年月日	2000年9月1日
病床数	一般 499床、
診療科目	◎内科、血液内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、人工透析内科、リウマチ科、◎循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、脳神経内科、精神科、◎外科、乳腺外科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、皮膚科、泌尿器科、腎臓移植外科、形成外科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科、病理診断科、脳神経外科、救急科
救急 医療 体制	◎固定通年制 ○非通年制 △輪番制

2. 沿革

1921(大正10)年7月 大阪市此花区恩貴島北之町に「大阪住友病院」を開設 病床64床

- ・1945(昭和20)年6月 第二次世界大戦の戦災により病院施設(病床数315床)の過半を焼失
- ・1945(昭和20)年10月 大阪市西区土佐堀に移転(病床数94床)
- ・1947(昭和22)年8月 財団法人「新大阪病院」に改称
- ・1959(昭和34)年8月 財団法人「住友病院」に改称
- ・1960(昭和35)年2月 大阪市北区中之島五丁目二番二号に移転、本館を新築(病床数250床)
- ・1967(昭和42)年7月 新館を増築(許可病床数499床)
- ・2000(平成12)年9月 大阪市北区中之島五丁目三番二十号に新病院(病床数499床)を開院
- ・2012(平成24)年4月 「一般財団法人 住友病院」に改称

～ 現在に至る

病院名(正式名称)	一般財団法人 住友病院
病院所在地	〒530-0005 大阪府北区中之島5丁目3番20号
開設者	一般財団法人 住友病院 理事長 高橋 温
開設者所在地	〒530-0005 大阪府北区中之島5丁目3番20号

「地域医療支援病院」承認要件一覧

承認要件		記入欄(記入例)	
許可病床数		一般 499床 合計499床	
施設設備	集中治療室	病床数	ICU・CCU 6床
		主な設備	陰陽圧可変室 1床、陰圧室 1床
	新生児集中治療室(NICU)	病床数	—
		主な設備	—
	化学検査室	主な設備	生化学自動分析装置、全自動化学発光免疫測定装置、全自動血球計数器、全自動血液凝固線溶測定装置ほか
	細菌検査室	主な設備	細菌同定・薬剤感受性測定装置、質量分析装置、全自動血液培養検査装置、全自動遺伝子解析装置ほか
	病理検査室	主な設備	臓器写真撮影装置付き切り出し廃液ドラフト、自動パラフィン浸透装置、包埋センター、滑走式マイクローム、温浴槽、伸展位、自動染色装置、自動封入装置、凍結切片作製装置、自動免疫染色装置、液状化検体細胞診システム、自動細胞収集装置、顕微鏡、顕微鏡写真撮影装置、フレバート保管庫
	病理解剖室	主な設備	解剖台、臓器写真撮影装置、遗体保管用冷蔵庫、遗体運搬車、オートクレーブ、解剖用吸引装置、電動解剖ノコギリ、局所排気装置付きホルマリン作業台
	研究室	主な設備	電子カルテ使用可能なパソコン
	講義室	室数 (室)	2 (室)
		収容定員 (人)	190 (人)
		室数 (室)	1 (室)
	図書室	蔵書数 等	3,500冊程度
	救急用自動車	保有台数 (台)	1 (台)
	主な設備	ストレッチャー、酸素吸入器、アンビュール ほか	
医薬品情報管理室	専用・共用	専用室	
	床面積 (㎡)	16.54 (㎡)	
紹介率・逆紹介率		紹介率 50% ・ 逆紹介率 70%	
紹介率		昨年度実績	今年度実績(4月～8月参考値)
逆紹介率		昨年度実績	今年度実績(4月～8月参考値)
紹介率		(①/⑥)×100 (%)	56.9% (%)
逆紹介率		(⑦/⑥)×100 (%)	79.7% (%)
上記の算出根拠	初診患者数	紹介患者数 ①	5,582 (人)
		初診患者総数 ②	11,933 (人)
		②のうち、救急搬入患者数 ③	1,305 (人)
		②のうち、休日・夜間の患者数 ④	824 (人)
		②のうち、健康診断の受診から要治療となって治療を開始した患者数 ⑤	0 (人)
		差し引き ②-③-④-⑤ ⑥	9,804 (人)
		逆紹介患者数 ⑦	7,819 (人)
共同利用の実績	前年度共同利用を行った医療機関延べ数	692 (件)	
	うち直接関係のない医療機関延べ数	692 (件)	
	共同利用に係る病床の利用率	18.2 (%)	
	開放型病院共同診療管理料	3件 (件)	
共同利用の範囲	建物の全部・一部	一部	
	開放型病床数	5 (床)	
	規定の有無	有	
開設者と直接関係のない登録医療機関数	263 (件)		
救急医療を提供する能力	医療従事者(常時最低確保数)	医師	常勤専従=0名、常勤非専従=7名、その他30名
		看護師	常勤専従=2名、常勤非専従=6名
		診療放射線技師	常勤非専従=1名、その他=1名
		臨床検査技師	常勤非専従=1名
		薬剤師	常勤専従=0名、常勤非専従=1名
		臨床工学技士	常勤専従=0名、常勤非専従=2名
	病床の確保状況	優先病床数	8 (床)
		専用病床数	2 (床)
	救急用診療施設・設備	救急センター、第2X線撮影室、第2CT室、第1血管造影室、第2血管造影室	
地域の医療従事者に対する研修機能	前年度の研修者数	321名 (人)	
	研修プログラムの有無	有	
	研修委員会の有無	有	
	研修指導者数	65 (人)	
	研修実施のための施設・設備	講堂・別館2階教室	
診療に関する諸記録及び管理・運営に係る諸記録の管理方法	診療に関する諸記録	病歴管理室	
	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	医事室	
	地域の医療従事者のための研修の実績	地域医療連携室	
	諸記録の閲覧の実績	総務室	
患者紹介の実績	地域医療連携室		
患者相談体制の整備	有(NS=5名、MSW=3名、事務=1名の体制)		
地域医療支援病院運営委員会	規程有(2020年度は発足前)		
居宅等医療提供施設等への支援	在宅療養後方支援病院として在宅療養支援診療所が登録した患者関し、診療所の後方支援を行う旨、運営要領を定めるとともに、関係者向け通知。		
備考			

※これは様式例ですので、申請要件等に合わせ適宜加工してください。また、時点(いつ現在)を必ず入れてください。